

藤女子大学
藤女子短期大学

No. 7

図書館だより

図書館をあなたのものに

— 文献複写をめぐる —

はじめに

コピー文化時代と言われています。中・高生の殆んどが、テーブ・レコーダーを私有して、種々の形で使用している。高校生に限らずFM放送の録音編集などは、もうブームを通り過ぎてすっかり定着した感じです。学内でもスリムなレコーダーを何気なく手にして歩いている学生をよく見かけます。

文献の複写も同様で、家庭に複写機を備えるというのは、この辺ではあまり聞きませんが、デパート・書店・薬屋・生協など、身近かなところで簡単に複写をすることができます。複写の専門店(?)もありますし、「コッピ」とか「W-bix」とか店名にうたった喫茶店なども多くなりました。複写機が、オーディオ・ビジュアル・レコーダーの急速な普及のように、将来家庭で普通に使用されるかどうか? 疑問もありますが、何れにせよ各種の複写がとて身近かなものとなり、更に一層生活の中に用いられて行くと見て良いでしょう。

図書館資料の複写

図書館で文献複写を取扱っているのは、ご存じでしょう。

図書館では、日常業務の中で、貸出・閲覧・参考調査などと同様に、複写業務を行います。つまり館所蔵資料の複写と、他館への複写依頼とを中心として一切の関連業務を利用者のもとめに応じて行っています。館の複写は、件数・枚数ともに(昭和52年度 2,700件 23,000枚)それほど多くはありませんが、年々増加する傾向がありますし、奉仕業務の中での比重も目立って来ました。

そこでこの号では、図書館の文献複写について、多少の紹介を試みてみます。

あなたは、複写希望の資料(図書館所蔵のもの)を持参し、出納台「複写」で伝票に必要事項を記入して、係に提出してください。係は内容を確認し、料金を計算した半券をあなたに渡し、出来上り日をお知らせします。ただし、閲覧係が館内複写を扱っている関係で、毎日の出納台業務の影響を受けて、受付処理や複写作業に時間がかかっています。館では日時短縮を当面の課題として、検討を続けていますから、どうぞもう暫く現状をご了承ください。さて、受付けた複写を係が作業をしているうちに、あなたは1階の会計課で料金を支払ってください。B4判(この図書館だよりを開いたサイズ)1枚20円です。その際に、会計課の窓口で半券に領収印を押しますから、それを持って、出来上り日にまた出納台「複写」にお出でください。複写部分に間違いはありませんか? そうですかそれでは完了です。

あなたは図書館の複写で、何時も充分な資料が手に入りますか? 図書館では、どんな複写でも何部でも受け付けるかといいますと、決してそうではなくて、図書館の複写は著作権法によって、複写の範囲等に一定のきまりがありますし、また、館の立場で資料の状態などが複写作業に適するかどうかを判断して、複写を受け(まれには断り)利用者のもとめに応じます。

著作権法と複写

著作権法は、公表された著作物に対する作者の私権を尊重し保護する法律ですが、その中には以下の定めがあります。

第31条 図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるものにおいては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書

記録その他の資料を用いて著作物を複製することができる。

1 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部）の複写物を一人につき一部提供する場合

2 図書館資料の保存のため必要がある場合

3 他の図書館等の求めに応じ、絶版その他これに準ずる理由により一般に入手することが困難な図書館資料の複製物を提供する場合

従って館の業務で行う複写は、当然この第31条に規定されていることを守らなければなりません。文化庁の見解によりますと、この場合の複製の主体は図書館であり、館の責任で管理下にある職員、設備を用いて行うものです。

規定1号は、**著作物の一部分のみの複製を認めるもので、決して全部或いは相当部分の複製を認めるものではありません。**資料の複製は調査研究を目的とするものに限られ、娯楽用とか単なる便宜のためには、提供できないこととなります。

この著作権法の規定が正しく理解され、複写業務が運用されるために、文化庁は図書館等の施設の職員を対象として同法の講習会を毎年開催し、館からもすでに何名もの職員が参加をして来ました。

一部分複写について、言い分もありましょうが、国内で6割の出版社が複写による被害を受け、7割の出版社が売行きに影響があったとした日本書籍出版協会の調査や、複写のため米国の伝統ある学術雑誌が廃刊になったり、日常あまり関心を持たない著作権について考え、文献複写が安直になり過ぎないようにしましょう。

館に無い資料の複写

複写をしたい資料が館に無い場合には、色々な段階を経て、他館依頼となります。窓口は参

考係ですから、出納台「参考」へお出てください。

係では、必要事項を調べ所蔵館を確認して依頼します。先方の事情で期間は一定しませんが利用者には複写物の到着または処理経過を、館の専用掲示板で案内します。

対象となる図書館等は、国の内外を問いませんし、特別の手續や申請によって、非公開の貴重文献や、特殊文庫の資料の複写を受けた例も多くあります。国立国会図書館では、毎日万単位の複写をしていますが、館でも先年登録し、古い雑誌などの複写を依頼しております。

複写料金は利用者負担で、他館へ依頼する時は、照会・申込み等の通信費、文献の郵送料、送金の実費など色々必要です。複写が入手できない場合や、間違った申込みでも通信費が必要ですから正確に調べてください。昨年は2,600枚を他館に依頼し、1,900枚を他館に提供しました。

枚数は僅かですが、他館依頼は手もとで資料を確認できないものですから、調査など思わぬ時間がかかることもあります。

申込みの際の注意

あなたには、是非注意をして欲しいのですが必要な文献について充分調べてください。

雑誌・紀要の場合——まず、論文掲載誌の「誌名」を全部正確に記入すること。よく「研究報告〇号」とか「紀要〇集」という記入申込みがあります。

たしかに正しい誌名が「研究報告」「紀要」となっているものがあります。しかし、こうしたものは、同一または類似誌名がゴマンと見られますから、発行の大学や研究所名が無ければ調べられません。また同一誌名で別な雑誌、1次3次5次と継承される雑誌など、複雑な例も多いのです。よくあることですが、巻号と年月の混同や誤記入。雑誌自体が年の途中で巻が替ったり、1巻8冊とか30冊という編成であったりします。さらに論文の参考文献に見られる誌名・巻号の略記は、執筆者によって異なることが

あります、必ず確かめましょう。

図書の場合——書名・著者名・巻数・版次・発行年・発行所名や、掲載ページなどが正確に解って、かつ、詳しいほど、文献複写が早くなります。何度も経験されたでしょう。「日本文学講座」「世界文学全集」「法律学全集」等、同じ書名の違う図書が多過ぎますし、また資料名だけでは、図書か雑誌か解らないもの、図書にも雑誌にもあるもの、それぞれ調査も大変ですが、まあ何とかやりましょう。

繰返しますが、手もとにない資料の調査は入念にしてください。参考書などからそのまま転記せず、複数の資料で確認するのが無難です。

文献を探す手がかり

それでは確認するための方法です。図書館には数は充分ではありませんが、便利な本があります。一般的には、分野別・年次に編集されているのですが、ほんの一例として

文芸年鑑 日本文芸家協会編 新潮社刊

(資料・雑誌新聞掲載作品目録)

国語年鑑 国立国語研究所編 秀英出版刊

(刊行図書・雑誌論文・新聞記事一覧)

国文学研究文献目録 国文学資料館編 至文堂刊

(雑誌紀要論文目録・単行本解説)

などを調べると、必要な年度の国文関係の資料の見当をつけることができます。

分野別に発行年を累積したものは、系統的に調べるために便利ですが、その例としては、**国立国会図書館・雑誌記事索引果積索引版**(人文・社会編 科学技術編)や、**20世紀文献要覧大系**などがあります。どちらも大変よく使用されています。

最近の傾向として

日本保健関係文献集・日本看護関係文献集(ジャパ・メディカル・サービス)または**宗教に関する10年間の雑誌文献目録**(日外アソシエーツ)など出版社が掲載論文の複写サービス

を行う例が多くなりました。中には抄録つきのものもあります。10年間の雑誌文献目録は、音楽、哲学、教育、政治と分野毎に継続され、図書館にも備えられます。

この**図書館だよりの4号**には、雑誌の利用を中心とした特集があって、文献の探し方を説明しています。出納台には第1号からの綴込みがありますので、同号を眺めてみてください。館所蔵の書誌・索引に慣れると、宗教的な**仏教美術文献目録**の中で説話文学や絵巻物関係の論文を、**Catholic Periodical Index** や **Guide to Catholic Literature** から、**グレーム・グリーン**の研究論文を拾い出すなど、上手な使い方ができるでしょう。

これからの複写は？

文献複写には問題が沢山あります。年間約400億枚と推定される国内の複写量を見ても著作権の関係を軽視できないと思います。

複写は、静電方式が中心ですが、写真印画やマイクロ・フィルム等の提供を受けることもできます。世界的に年々情報量が増加していますから、複写もさることながら、もっと大きく図書館の理念が変質することもあります。

書誌・索引とコンピュータの端末機とテレファクスを中心とした図書館像が欧米の論文に見られます。日本でも図書館とは「必要な情報の提供を受けるところ」という研究者の意識調査の結果が出ており、所属機関の所蔵資料のみで不足なことも常識です。館所蔵資料の複写とともに、図書館相互協力の中の文献複写も、問題は問題としながらも動きは更に活発になるでしょう。



資料紹介

日本近代文学大事典 全6巻

日本近代文学館編 講談社刊

請求番号 910.26 N71 1-6

昭和53年3月で完成をみたこの大事典は、日本近代文学館創立15周年、講談社創業70周年の記念出版として、7年間にわたる編集作業の末に集大成されたものである。事典編集の苦勞ばなしは数多いが、この7年間に支え、完成まで引っぱってきたものは日本近代文学館設立の発想と同様、このままでは永久に埋もれてしまいそうな文学者や文芸雑誌・文学運動などの雑多な資料を、今のうちに調査記録しておこうとする強い意志であったという。編纂は文壇・学界の併せて30名から成る編集委員会が20回を越える協議を重ねて行なわれた。項目選定だけでも2年間に要し、その範囲は文学に限らず、社会・哲学・思想・美術・演劇・映画・出版等の関連領域にまで及ぶ。その為、執筆者も各分野の専門家856名（この中には大岡昇平・井上靖・舟橋聖一・中野重治等の著名作家を含む）、関係スタッフを入れると総勢900名の多きにのぼる。書誌事項は52万点におよぶ日本近代文学館取蔵資料、加えて、図書館・大学・出版社・新聞社・文庫・研究所その他の援助を受け、すべて原本にあたって確認という原則を徹底している。まさに日本近代文学館ならではの企画であり、完成でもあろう。

文学辞(事)典では忘れてはならないものに藤村作編『日本文学大辞典』（新潮社 昭和7年 全4巻、増補訂正版 昭和24-27年 全8巻）があり、詳細な記述と豊富な図版で今日でも最も信頼しうる辞典として評価されている。他に、久松潜一等監修『現代日本文学大事典』（明治書院 昭和40年）、伊藤整等編『新潮日本文学小辞典』（新潮社 昭和43年）等多数のものがあるが、瀬沼茂樹氏はこれら数種の辞典



をひきあいに出しながらもなお『日本近代文学大事典』は「規模において、戦前の藤村作編の『日本文学大辞典』を凌駕するとも、これに劣らない。また近代文学の大事典としては最高・最大であるだけでなく、空前というべきだ」と絶賛している。

以下、この事典の特徴についてもう少し詳しくみていくことにする。

全6巻のこの事典は、第1-3巻〔人名〕、第4巻〔事項〕、第5巻〔新聞・雑誌〕、第6巻〔索引その他〕と、利用の便を考慮した類別構成の成されている点が目新しい。B5判4段組、総ページ数3,400、総項目数7,430は同じ明治以降を取録範囲とする『現代日本文学大事典』の1,430ページ・3,000項目に比べると、いかに大規模であるかがわかる。類別の項目数で比較すると、人名の5,170は従来の事典の2.5~3倍、事項の660は6~7倍、新聞・雑誌の1,600は何んと10倍にもあたるといふ。また、2,325枚の豊富な写真は解説にアクセントをつけ、より具体的な理解を助けている。さらに各巻についてみると、

第1-3巻〔人名〕では、従来手薄だった大衆文学・児童文学・随筆や外国文学の研究紹介者、日本文化に直接寄与した外国人までも含むという視野の広さである。その中には、既存の事典には無かった2,500名にもおよぶ言わば忘れられた諸家が含まれていて、この一事をとっ

でもこの事典の今後の文学研究上に占める位置は大きいと言わなければならない。

第4巻〔事項〕では近代文学史上の主義や論争はもちろん、各種の特設文庫・劇団・結社から、古典文学との関わり、外国文学の影響など幅広く収録している。他の事典では見られない「複製」や「出版社」等のユニークな項目は読者を退屈させない魅力がある。まさにこの1冊は読む事典としての要素も充分に備えていると言える。

第5巻〔新聞・雑誌〕では、文芸雑誌・同人誌は当然として、総合雑誌・思想・社会・美術・演劇・映画・大衆・娯楽等の諸雑誌や週刊誌・新聞・出版社のPR誌までを含んでいる。個々について、ていねいな解題と評価が与えられていて、ここにも日本近代文学館15年の蓄積の重みを感じられる。

これら5巻を効率的かつ多目的に活用するた

めに第6巻〔索引その他〕がある。索引は、人名、書名・作品名・叢書名、一般事項、新聞・雑誌名の4種が用意され、その総数は55,000項目に達するという膨大なものである。また、人名については筆名・別名・号からも、書名・作品名については本題だけでなく角書(つのがき)からも引ける等、各種の工夫が成されていて、質の面からも大いに評価できる。この巻には、〈叢書・文学全集・合著集総覧〉〈近代出版側面史〉〈発売禁止主要書目解題〉等の書誌文献資料も収録され、全6巻を合わせれば、日本近代文学百年の全貌をほぼとらえるように編集されている。

北海道という地域がら、資料の実物を見る機会も少なく、捜す手段も限られた中で、最高水準の情報を入手できるこの事典を駆使しない法はないだろう。能書はこれまで、早速開いてみることをお薦めする。

『日本近代文学大事典』のこと

小笠原 克

『日本近代文学大事典』全6巻が図書館に並んでいる。編集に当たった日本近代文学館の創立15年、版元の講談社創立70年記念の、6年がかりで完成した出版文化の一等星である。世紀の労作と称してもよい。

私も、命ぜられて「久保栄」「私小説論」など10項目ほどを受け持った。ほぼ評価の定まった対象の場合は、関係文献を博搜整序する困難はそれとして、まずは一汗拭えばよいけれど、生没年も不明の作家や、発表誌そのものすら求め得ないケースには投げ出したくなった。

今年九月、国文学科の集中講義に来学される紅野敏郎先生が編集長として陣頭指揮に当たられたのだが、その紅野さんや、文学館の知友に聞くと、推理小説さながらの迷路を踏みわけて、ついに実態を完全に把握した労作も多かったという。それでいて、与えられた執筆枠が10行、などとなると、虚無的な疲労感が寝汗のように伝わってくる。そういう、この事典でしか果せない紙碑——比類なき文学碑の数々が密集していてもいる。

学生諸姉の頭をかすめるほどの事項は全部盛りこまれているけれども、それでもなお遺漏は当然ながら有る。そこが事典というものの困難であり、また読者に課せられた責務でもあるだろう。先般、故平野謙氏の葬儀に上京した折もそんな話題が出て、例えば10行の枠で反故と化した文業をまるごと存分に書き尽くすような媒体を作ろうではないか、と、まるで弔合戦のように心たかぶる一コマもあった。何だか事典に逆ウラミしてるみたいだが、それほどにもこの6冊は強烈な刺戟を投げかけているのである。

私にとってこの事典は、呆けて過ごすのが通例だった或る一刻を埋めてくれる座右の書だ。あてもなく開いたページには、必ず未知の世界が鎮まっている。本質的な文学散歩を、居ながらにして楽しめる。読みたまえ、諸姉も。

資料紹介

Books in Print

Bowker 刊

請求番号 025 B64

日本国内で出版されている書物を探す場合には『出版年鑑』という便利なものがあることはすでにご存知の方が多いと思いますが、ではアメリカで出版されている書物を探す場合には何を見たらよいか知っていますか？ **Books in Print** という大きな部厚い赤や青の表紙の本が参考図書のコーナーにあります。1948年から New York の Bowker 社から発行されているものです。もともとは1873年から発行されている同社の **Publishers' Trade List Annual** (日本語に訳すと「出版者合同目録」) —これはアメリカの出版者別のカタログを出版者名のABC順に集めてまとめたもの—をより一層使いやすくするために、著者名別、書名別の索引として編集しなおされたものです。が、現在は **Publishers' Trade List Annual** に収録されているものに限定せずもっと多くの出版物を含んでいます。in Print というタイトルが示すとおり現在入手可能な書物のリストで1975年版では3,800の出版社の429,000タイトルを収録しています。年刊ですがより最新の情報を提供するために、1973年からは **Books in Print** 発行6ヶ月後に **Books in Print Supplement** が毎年発行されています。**Books in Print** をひらくことにより、著者名等(共著者、編者、翻訳者等)書名、巻号数、版に関する事項、アメリカ議会図書館のカードナンバー、叢書名に関する事項、英語以外の言語の場合は、言語名、さし絵の有無、対象読者層(児童向等)、出版された年、装丁(ペーパーバック等)、価格、国際標準図書番号等を知ることができます。1年分は著者名から探す人のための **Authors** 編2冊と、書名から探す人のための **Titles** 編2冊の

合計4冊からなっています。**Authors** 編は著者の姓からのABC順に並んでおり、同じ姓をもつ著者の間では名のイニシャルしかない姓が、完全な名をもつ姓の著者名より先に並んでいます。(Smith, H. C. が Smith, Harold A. より前に並んでいる) **Titles** 編では、書名の語順にABC順に並んでおり、ここでは人名は名姓の形(William Faulkner はWのところ)で並んでいます。書名の一番最初が冠詞(英語では, a, an, the) の場合はその冠詞の次にくる単語から探すようになっています。又数字を含んでいる書名の場合は数字が文字として綴られている形から並んでいます。なお政府刊行物はこのリストには含まれていません。もし書名しわからなければ **Titles** 編から探してみてください。ペーパーバックの安い版があるかどうかもわかります。ある特定の著者の図書を探したいのなら **Authors** 編から探すとその著者が出版している図書の一覧表を見つけることもできます。より最新の情報を提供してくれるので利用しだいでは最新の書誌がわりとしても活用できます。なお主題から探したい人のためには同社から **Books in Print** のタイトルを主題別に編集しなおした **Subject Guide to Books in Print** が役立ちます。1冊の図書から最低2~3、又はそれ以上の主題を選びその主題のもとにリストアップしたものですから明確な書名、著者名がわからなくとも探したい主題から最新の情報を得ることが出来ます。ここに紹介した3種の参考図書は、当館では残念ながら毎年はそろっておりませんが、わずかながらありますのでどうぞ利用してください。

Books in Print. Author 編の例

Faulkner, William. Absalom, Absalom. 3.95
(ISBN 0-394-60271-4, M271). Modern Lib.
-- Absalom, Absalom. (YA) (gr. 9-12) pap.
2.95x (ISBN 0-394-30978-2, T78, Mod LibC).
Modern Lib.
-- Absalom, Absalom. 1966. 6.95 (ISBN 0-394-
41400-4). Random.
-- Absalom, Absalom! (Illus.). 1972. pap. 1.95
(ISBN 0-394-71780-5, V780, Vin). Random.
-- As I Lay Dying. 3.95 (ISBN 0-394-60378-8,
M378). Modern Lib.
-- As I Lay Dying. 1964. 5.95 (ISBN 0-394-
41581-7). Random.
-- As I Lay Dying. pap. 1.95 (ISBN 0-394-

Books in Print. Title 編の例⇒

図版説明

Author (前ページ), Title (右)ともに Faulkner の部分載せてみました。Author では Faulkner の作品・作品集が、また、Title の方には Faulkner に関する評論などが、それぞれ書名のABC順に並んでいます。ご覧のとおり、記述が簡単で、略語も多く使われています。正確に理解する為には、まず、凡例をよく読んでください。

Pr of Va.
William Faulkner: A Critical Appraisal. Harry M. Campbell & Ruel E. Foster. LC 70-135270. 1971. Repr. of 1951 ed. lib. bdg. 6.00 (ISBN 0-8154-0363-1). Cooper Sq.
William Faulkner: A Study in Humanism from Metaphor to Discourse. Joseph Gold. 1967. Repr. of 1966 ed. 6.95 (ISBN 0-8061-0706-5). U of Okla Pr.
William Faulkner: An Annotated Checklist of Criticism. John Bassett. 18.50. D Lewis Pub.
William Faulkner: An Interpretation. Irving Malin. LC 76-165664. 1972. Repr. of 1957 ed. 6.50 (ISBN 0-87752-154-9). Gordian.
William Faulkner: Art in Theological Tension. John W. Hunt. LC 72-6942. (Studies in Fiction, No. 34). 1972. Repr. of 1965 ed. lib. bdg. 11.95 (ISBN 0-8383-1658-1). Haskell.
William Faulkner: Configuration Critique. Maurice Beebe et al. LC 74-13358. 1957. lib. bdg. 20.00 (ISBN 0-8414-3257-0). Folcroft.

書齋訪問

松本咲子先生

(書道)

旧館1階、書道教室手前にある研究室からは中庭のマリア像が見える。「この部屋は天井が高く、空間が広いので気に入っています」とおっしゃる松本先生は高等女学校、大学と藤学園で学ばれた根っからの「藤っ子」だ。



「幼い頃は兄の書棚に岩波文庫等がたくさん並び、本には恵まれた環境にありました。本との出会いで記憶に残っているのはアルスの『日本児童文庫』、ケストナー等、その後、現在の中学から高校にかけての時期に手あたりしだいに読んだのがヘッセ、ジイド、トルストイ、カロッサ等の翻訳物です。でも、読書が一番適した時期、本を必要としていた時期に戦争のため活字から遠ざかったのは本当に残念でした。その時期は援農に狩り出されたり、工場のようにされた学校で軍服の縫製作業をしていたので

す。今は読みたいと思えば制限なしに読めるし、やりたいことは何でもできる時代です。学生の皆さんにそのことに気が付いて欲しい、やれる時にやって欲しいと思います」

母が書家であることから自然に筆を持つようになったとおっしゃる。漢字から入り、近代詩文を学ばれ、現在は仮名が専門である。大学での講義・卒業制作展の指導等の他に、月1~2作平均で創作活動をしておられる。

「最近は大学に来て初めて筆を持つ学生が多くなっていますが、皆さん優秀です。特に集中力と持続力にすぐれているので卒業までには大変りっぱになられます。指導にあたっては個性を掘りおこすのが最もむずかしく、また楽しみでもあります」

美しいもの、素晴らしいものにふれ、感動することが創作につながるとおっしゃる先生、素材を求めてよく図書館へ通われるという。

「昔は書くことに純粋な楽しみ、無償の行為で書くという王侯貴族のようなぜいたくさを感じていました。私にとって『書』はいわば生きるための仕事でした。今ではそれが食べるための仕事にも結びついてしまいました。やはり幸せといえるのでしょうか」

今後どのような『書』の世界が展開されるのか、健康とご活躍をお祈りする。

稲垣是成先生 (保健学)



稲垣先生は北大医学部の卒業で専門は外科、何年か大学院勤務の後、中国・マレーと従軍し、戦後昭和35年本学に着任された。今年で19年目になる。

◎着任当時と現在の学生の印象は

——今の学生は現実的といえるかもしれないなあ……のびやかさが以前にはあったように思う。最近は酒やたばこをのむ学生が増えたね。体質的にみて女性は酒に強いのではないかと思ってるんだが、医者立場からいうとたばこは若い女性でもあり、その害が心配だなあ……

◎先生はどんな授業を

——学生には勉強する方法を身につけて欲しいと思っているので、授業ではいろいろな調査の課題を与えることが多い。資料漁りからレポートのガリ切りまでやらせるよ。方法論がしっかり身につけば何をしようとしても応用がきくはずだからね。

◎学生生活について

——クラス・クラブの発表の場としての大学祭は大いに結構だし、保育科で行なっているようなグループワーク(合宿形式で集中講義・実技指導・キャンプファイヤー等もする)も学生生活をより豊かなものにする機会としてもっと考えられていいのではないかな。

◎3年前に10ヶ月半程も入院されたことがある。大変重い病気で回復後は拾幅のよかった以前とは別人のようにやせてしまわれた。

——入院してからは自分の病気を思いつめずのんびりするようになったのがよかったのだろう。少し良くなってからは、本を読むのが楽しみになり、岩波新書・中公新書等、手当たりしだいにセクションを限らず、ずいぶん読んだね。

◎生きがいは

——障害者問題を考える場合にも感じるんだが重度の障害者でも、人生に対して悲観的ではなく、教養豊かに明るく暮している。彼らの心の支えとして読書は大きな意味を持つのではないだろうか。むしろ健康な人間が忘れ、気がつかないでいるかもしれない。生涯教育につながるのだと思うが、やはり教養豊かに生きることは大事で、読書はその大きな位置をしめるといえるだろう。

◎来年3月で定年退職ですね。

——今のところ何も考えていないが、他で福祉関係の仕事をいくつか持っているし、本の編集にもかかわっているので当分それが続くだろう。

「新潮」マイクロフィッシュ版購入

雑誌「新潮」は、その前身「新声」(明治29年7月発刊)を受けて、明治37年5月に創刊され現在に至っています。「新潮」の文学史上に占める位置の大きさは、既に皆さんご存知の通りです。図書館には、従来昭和初年と戦後の分の所蔵しかなく、利用上大変不便を感じていました。この度日本近代文学館より「新潮」創刊から昭和20年までの分をマイクロフィッシュにしたものが編集刊行され、本館でも1セット購入いたしました。全490冊、10,600ページがハガキ大のマイクロフィッシュ1,317枚に取められています。また『新潮総目次・執筆索引』1冊も用意されています。これにより近代文学研究が更に容易になると思います。近く利用できる状態になりますのでご期待ください。

学生の声

私の図書館

文英4年 岩館 厚子

私は本の好きな人間の中の、みそっかす的存在である。20年以上も前に出版された、ある英語の人類学の本が、あの「秘密の穴倉」のような書庫から、係の方によっておもむろに出され、それが20年間手つかずのようであったのを発見するやいなや、非常な、得体の知れない喜びにあふれる。ましてやそれが、自分のつくえの上で気のむくままに開かれ、そしてそこから「本のムシ」が音もなくはい出てくるのを見ると、もうたまらなくうれしくなる。仲良く土に埋もれている「骸骨夫妻」が、その本の写真の中で、久々に仲間会ったという感激で、私の顔を見てニンマリと笑う。

私がひんぱんに図書館に通った理由は、そんな魅力的な本を見つけ出すためだけではない。私のように俗っぽい事ばかりに興味を持つ学生に、どんなささいな質問に対してでも暖かく応じて下さる人々がいたからである。自分が疑問に思ったことや、どうしても見たい本などを、暖い気持ちで教えていただけるということは、ほんとうに快いことだ。半分そのような快感を味わうために通ったようなものである。心から、「ありがとう」と言いたい時が何度もあった。

私は英文学に関する本を、およそレポート提出の時以外に貸りたことのない、はなはだ不真面目な学生である。ところがある時、ある考古学の先生が、私には読めそうにもない英文の科学雑誌を紹介され、そして「英文で一字一句理解することが真の理解・勉強になる」ということをおっしゃった。この時私は、遠回りをしている自分を発見した。

こんな私にも夢がある。日当たりの良い洋間の両側の壁全体を本棚にして、好きな本を並べるのである。本棚はなるだけ高くする。梯子を使って本を取り出すなんて、なんてすてきだろう。その夢を徹々たりとも実現しようと、私は

つくえの両側に一つずつ本棚を置き、サルや、骸骨、土器、宇宙人の本を恥ずかし気もなく並べて、一人でしあわせな気分ひたっている。

題知らず

短国1年 高橋 尚子

書庫の中で図書館長と会った。すれ違いざまに「見つかりますか」ときかれたので「ええ」と答えた。答えたあとで考えた。——ここはやっぱり資料を読みに来る所なのだろうか——私はレポート作成のために来ることより、そのために来たとしても、徒然と背表紙を眺めたり、半世紀も前の雑誌を手にとっていることの方が。そして、小笠原教授の言うた如く、目次にだけは目を通して次の本に移る。

「何故お前さんの歌はそんなに短いの？」

と或る時小鳥にたずねてみた。「もしや息が続かないのじゃないの？」

「私には歌が沢山あるのです。それをみんな歌ってしまいたいので」

(ドーデ『アルルの女』より)

寺山修司という競馬評論家兼作家がいる。彼は「幸福とは幸福をさがすことである」というルナルのことばを、トイレの中で見つけたそう。まことに出会いとは不思議なもの——。その出会いを期待しつつ、トイレよりは確率の高そうな図書館へ足を運ぶ私である。

最後に、私が一日に一回は手にする、寺山修司の『ポケットに名言を』という本のあとがきから、少し引かせてもらって終わりにしたい。

ゴッダムの賢い男が三人

お鍋に乗って海へ出た

お鍋がもう少し頑丈だったら

このお話も

もう少し長くできたのにな

というマザーグースの童謡は、「鍋が沈むまで」(すなわち生きている限りは)ことばの交換が行なわれることを物語っている。私もまた(ゴッダムの賢人ではないが)、こうやって本を出しつづけられるあいだは、ことばの交友録を書きつづけることになるだろう。

さっぽろ古本屋ご案内

古本屋さん、ご存知ですか？ 買い忘れた教科書や参考書、読みすててもいい文庫本などが格安に手に入ったり、稀には有名人のサイン本にぶつかるともあります。本棚も店の人たちにも、新刊書の本屋さんとはまた一ふう変わった雰囲気があります。ぼかっと空いた昼さがりなど、ちょっとのぞいてみませんか。

現在、札幌には16軒の古本屋さんがあります。それを北から順にご紹介しますと、地下鉄北24条駅から真直ぐ東へ行くと青倫堂書店（東区北23東1石狩街道東向）があります。こじんまりとしたところで、店名を白く染めぬいた紺のノレンがすてきです。わが大学に近くなって市英堂書店（北区北18西5, 5丁目通り西入る）北大生のお客が多いようで文庫本が目立ちます。店の前に白地に黒で「本」とした四角い看板があるのですぐわかります。もっと大学に近いところでは稲野書店（東区北15東1石狩街道西向）ごくごく最近6月15日に開店したばかりの店です。通学の途中気付いた方も多いでしょう。同じ並びで200メートルほど南には古本やなぎや（東区北13東1）があり、そこから西へ400メートル行くと弘南堂書店（北区北12西4北大病院前）、この店は文学・社会科学・自然科学・北海道史関係その他色々揃っていて、市内でも屈指のところ。藤の国文の先生方もよく行かれます。近くでするので何かあったらまずこの店をのぞくのもいいでしょう。5丁目通りを反対側へ渡って南へ、北大の正門を100メートルばかり通りこしたところにあるのが南陽堂書店（北区北8西5東向）。ここのご主人は、前の弘南堂さんのお兄さんです。このお店は北大正門近くという地の利を占め、また歴史が古いだけに品物が豊富です。

今度は街の中心部です。地下鉄大通駅から、そのまま地下街ポールタウンを歩いて4丁目プラザに入りましょう。B1に一誠堂書店（中央

区南1西4）があります。ここも古いお店ですが、今はすっかり明るくなり、よく高校生が文庫本や漫画本、音楽雑誌のバックナンバーを漁っています。何とか文学賞受賞作品やベストセラーのセコハンものは、まずこの店で探しましょう。4丁目の交差点を真直ぐ東へ行って橋を渡った右手に大学堂書店（中央区南1東2北向）老主人がたいへんな本好きとか、まあ一度本棚を眺めてごらん下さい。すすきの近辺には5軒あります。地下鉄すすきの駅からちょっと北に戻ったところに成美堂書店（中央区南3西3西向）があります。ここも古いお店で、ずっと以前は通りの反対側にありました。現在のお店では1階が新刊書、入って右手の階段を上った2階が古書の売場になっています。やはり場所柄セコハンものが多いのです。社会科学関係のかたい本もわりにあります。ここから西へ100メートル程で石川書店（中央区南3西4西向）5丁目ウエシマの向いです。最近は限定本や趣味の本に力を入れています。すすきのの中央の通りを南へ行くと200メートルくらいで左手に北海堂書店（中央区南6西3西向）があります。ここは文学が中心で、値は高いのですがあれこれと並んでいます。この1本東の通りに並樹書店（中央区南5西3東向）、限定本や初版本を集めています。豆本もありますよ。逆に西の方に足を向けると、東本願寺の近くに博文堂書店（中央区南7西8西向）、そこから今度は北へ狸小路までくると八光書房（中央区南3西8）があります。

あと2軒はちょっと離れます。地下鉄東西線菊水駅を出たところにえぞ文庫（豊平区菊水2条2丁目）、北海道史関係が中心で、その他格安のものが多いです。市営バスで苗穂本町へ行くとどさんこ書房（東区本町1条3丁目）、仲通りのわかりにくい場所ですが、とにかく安いのです。ただしあまり良いものはありません。

さあ、これでひと通り終わりました。どうぞ、ふらっと入ってみてください。きっと何かがある筈です。ただし、古本屋さんは日曜定休のところが多いのでご注意ください。また、午前中は閉まっている店もあります。値段は、表か裏の表紙を開いたところにありますが、その通り

買ってよし、ダメでもともと、思い切って値切ってみると意外に安く買えるかもしれません。より詳しいことを知りたい方、図書館のカウンターでお尋ねください。案内書もいろいろあります。

では bon voyage !

NEWS

禁帯出図書の「一夜貸出」5月より実施

従来も試験期にのみ実施してきましたが、皆さんの要望に応え、本年はまだ試行の形ですが年間を通して「一夜貸出」を行ないます。レポートや卒業論文の作製に、効率的にご利用ください。ただし返却が遅れると他の利用者の利用に支障がでてきますので、返却時間の厳守をお願いします。

貸出時間 午後4時—翌朝9時
(土曜日は午後2時から)

従来の指定図書・新着雑誌の「一夜貸出」と同じ取扱いです

対象資料

- 閲覧室参考図書コーナーの資料（事典、辞書、ハンドブック、統計書、便覧、年鑑、年表、索引等）
- 閲覧室及び書庫内の雑誌・紀要類で禁帯出指定のもの（『解釈と鑑賞』『国語・国文』『国文学』『現代のエスプリ』『暮しの手帖』等）
- 指定図書中の禁帯出指定のもの
- 閲覧室内の美術全集

館職員の異動

退職 総務係 市原こずえ 3月31日
採用 ク 日影館峰子 4月1日

閲覧室南側の資料が移動しました

閲覧室内に配架されている資料が増加してきたため、書架増設を行いました。それにとまない資料も多少移動しました。特にキリスト教関係図書のうち、聖書関係は窓側の書架へ別置されましたので、利用の際ご注意ください。

各種就職試験関係資料コーナー新設

大学の就職試験対策講習会実施の方針にタイアップし、この関係の資料を購入し、閲覧室内新着雑誌コーナーの近くに置きました。

憲法事典、六法全書、就職案内書、各種公務員試験及び教員試験問題集等があります。皆さんの就職の資料として大いにご利用ください。

夏休み中の予定

例年どおり7月17日から8月31日まで休日開館となり、8月中2週間の休館があります。詳しくは公示をごらんください。

(休日開館 午前9時30分—午後4時00分)

昭和53年度図書館委員

昭和53年度の図書館委員は下記の方々に決まりました。

後藤平吉、井上修裕、小笠原克、伊藤 敬、
江草久司、伊藤義生、伊藤信夫、三浦房江、
沖津圭子 以上9名